

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校教育指導運営事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	02	01	02	04
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小学校教職員及び小学校児童	意図	小学校における情報教育の推進及び教育内容の充実を図る。 小学校における学校図書館の充実を図る。
事業内容	小学校の情報教育の整備、特にパソコン備品等購入による教育内容の充実。 小学校の学校図書館の充実。			
事業開始から現在までの状況変化	この事業を通し、小学校の情報教育の整備、特にパソコン備品を整え、より効率の良い学習形態が取れるようになった。その結果、児童の情報教育への興味・関心が一層高まり、学習効果が高まっている。また、学校図書館図書整備、学校図書館司書の配置により読書活動が推進された。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	学校図書館司書配置人数		3	8	名	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	情報機器が学校図書館が使いやすく整備されることにより、様々な教育活動に活用され、学習効果がより一層高まっている。		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		市内のすべての小学校でパソコンが整備され、子どもたちが様々な情報を得ることが容易になった。おもに各教科、あるいは総合的な学習の時間等で情報収集に使用されている。また、そうして得た情報を使って、新聞作りなども行われている。それを継続していく上でも、備品修理やプリンターインクなどの消耗品の整備は必要であり、欠かすことができないものである。また、「学校司書」の配置が法的に努力義務として位置づけられるなど、学校図書館に人を配置することの重要性和社会的要請がますます高まっている。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,627,010	1,569,979	12,479,298			
事業費(b)(円)		597,260	563,179	11,490,498			
うち一般財源		597,260	563,179	11,490,498			
職員給与費(c)(円)		1,029,750	1,006,800	988,800			
人役・職員(人)		0.15	0.15	0.15			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	今後もパソコン周辺機器の整備や修繕、学校図書館の整備に力を入れていく。また、学校の研修推進のための環境整備を行い、教育内容の充実を図る。	③取組における課題(Check)	パソコン使用環境の整備とともに、情報教育の充実を図るとともに、学校図書館の整備と、読書活動を更に推進していく。
②H30に実施した取組(Do)	パソコン関連の備品修繕、周辺機器の整備や学校図書館の整備を積極的に行った。また、小学校における教育内容の充実を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	今後もパソコン周辺機器の整備や修繕、学校図書館の整備に力を入れていく。学校の研修推進のための環境整備を行い、教育内容の充実を図る。